

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2013.5.27

No.2078

No.36



出席率 会員47名中33名

先々週の出席率 97.78%

先週のメイクアップ 5/21 三條北RCへ 馬場眞樹 広岡豊樹
星野健司君 西潟精一君 野島廣一郎君
佐々木常行君 吉井正孝君
5/23 加茂RCへ 田代徳太郎君 渡邊久晃君
5/23 次年度親睦委員会打合せ会へ
草野恒輔君 平松修之君 荒澤威彦君
馬場輝仁君 銅治康之君 船久保孝志君
長谷美津明君 星野健司君 加藤峰孝君
5/24 吉田RCへ 渡邊久晃君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ 会長

坂井 範夫

皆さん、こんにちは。第4分区ガバナー補佐の杉山さん、そして次年度ガバナー補佐を務められる鈴木さん、ようこそいらっしゃいました。杉山さんには今年度いろいろとご指導いただきましたこと感謝申し上げます。また、鈴木さんには次年度どうぞよろしくお願いたします。

このところ暑い日が続いておりますが、湿度が低く、カラリとしており大変過ごしやすく、一年で一番良い季節ではないでしょうか。

来週には男の節句で“イカ上げ”があります。全国的には“タコあげ”ですが、三條と今町は“イカ上げ”と言われています。白根はどうでしょうか？ また、六角凧は三條と今町のみで、ほかには四角等いろいろな凧があるようです。これは世界的に見てもいろいろな形の凧があるようです。

私の会長としての任期もあと1か月となりました。会長になって間もなく、7月23日には「ガバナー公式訪問」があり、大変緊張したものです。8月27日の「夏忘れ会」、9月24日の「歴代会長卓話」では、故馬場一敏さんが話されました。

10月16～17日には市内4RC合同社会奉仕事業の「東日本大震災被災地追悼、世界文化遺産『平泉』研修」が実施されました。

12月17日の「忘年家族会」、今年に入ってから1月28日の「新年会」、またついこの前の「旬例会」、いつも設営にご苦労いただいた親睦委員会の皆さん、本当に有難うございました。心よりお礼申し上げます。

また、残念なこともありました。2名の方が亡くなりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

最終的に3名の新会員を迎えることができましたが、3名減となりました。来年度も多くの方から入会いただけるよう、皆様のご協力をお願いいたします。

四つのテスト

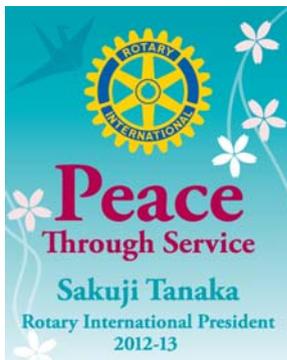
一言行はこれに照らしてから

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか



国際ロータリー会長 田中 作次 [埼玉、八潮]
第2560地区ガバナー 鈴木 重 壺 [長 岡]
第4分区ガバナー補佐 杉山 太三郎 [巻]
会 長 坂井 範夫
幹 事 丸山 征夫
S A A 永 桶 俊一

事務局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp



第4分区ガバナー補佐 杉山 太三郎 様 (巻RC)



4回目、最後の訪問となりました。

田中作次R1会長メッセージ「奉仕を通じて平和を」、鈴木重吉ガバナーメッセージ「恕の心を以って・奉仕を通じて平和を」を皆様にお伝えし、活動を進めて参りました。

9月29日開催の「第4分区IM」では“共学・共働・共汗の奉仕の輪”のテーマのもと、参加者全員で五ヶ浜海岸の清掃に共に働き、共に汗を流していただきました。ご協力に改めてお礼申し上げます。

また、第4分区合同名簿の製作につきましても、ご面倒をおかけいたしました。

掲載内容にかなりバラつきがあり、完成品を手にとられたときに驚かれると思いますが、第4分区の気持ちを一つにしよう、お互いの普段の生業を知り合ってほしいとの願いから11クラブにお願いし作成したのですが・・・。仲間のつながりが深まり、それが会員増強に反映されていくことを希望します。

最後に各クラブを訪問して気になったことですが、国歌を歌う姿勢がバラバラなことに疑問を感じました。皆が同じ方向を向き、同じ姿勢で歌うようになったら素晴らしいのではないかと感じた次第です。

いろいろとお世話になりました。今度はメイクアップとしておじゃまさせていただきます。

次年度第4分区ガバナー補佐 鈴木 守男 様 (三条東RC)



三条東クラブは創立7年目の経験の少ないクラブです。そのクラブから選出され、ガバナー補佐を一年間務めさせていただくことになりました、どうぞ大先輩の皆様方のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

南クラブさんは、7月22日に分区内最初の「山崎ガバナー公式訪問」です。7月8日に事前訪問としてお邪魔させていただきましたが、その折に山崎ガバナーの思いをお伝えできればと思っております。

また、当クラブがホストクラブとして9月29日に「第4分区IM」を燕三条ワシントンホテルを会場に開催させていただきます。

充実した内容となるよう、クラブ一丸となって試行錯誤しながら準備を進めてまいります。どうぞ多くの皆様よりご出席いただきたくお願いいたします。一年間よろしくお願い申し上げます。

幹事報告



丸山 征夫 幹事

●白根ロータリークラブより「創立50周年記念式典」出席お礼 ※ 5月11日 坂井会長、丸山幹事出席

●鈴木ガバナー事務所より「6月ロータリーレート」のご案内 6月1日より 現行1\$ 98円 ⇒ 100円

●国際ロータリー日本事務局より 事務所移転のご案内

<新住所> 〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 24F

<電話> クラブ・地区支援室(旧奉仕室) … 03-5439-5800

財団室 … 03-5439-5805 経理室 … 03-5439-5803

資料室 … 03-5439-5802

<FAX> 共通番号 … 03-5439-0405

<業務時間> 9:30 ~ 17:30

Birthday



6月のお祝い



誕生日



| | | | | |
|--------|-----|-------------|-----|------------|
| ◆ 会員誕生 | 2日 | 熊倉高志君 | 18日 | 滝口恵介君 |
| | 18日 | 渡邊光郎君 | 21日 | 星野健司君 |
| | 21日 | 田中悌司君 | 23日 | 加藤峰孝君 |
| ◆ 夫人誕生 | 3日 | 馬場廉子(輝仁)さん | 21日 | 池田正子(稔)さん |
| ◆ 結婚記念 | 10日 | 佐々木常行君・朋子さん | 11日 | 平松修之君・貴子さん |
| | 14日 | 大溪秀夫君・明子さん | | |

* おめでとうございます *

ニコニコボックス

NIKO-NIKO BOX

～ 5月27日 23,000円
今年度累計 854,000円
+600パーツ～

三条東RC 山崎年度お世話になります。
鈴木守男君 よろしくお願ひ申し上げます。
坂井君 佐藤さん、卓話楽しみにしております。
丸山(征)君 時間がありますのでたっぷり話して下さい。
丸山(征)君 暑くなりました。
佐藤(嘉)君 佐藤嘉男さん、卓話ご苦労様です。
佐藤(嘉)君 本日の卓話当番です。
昼寝をしやすいように小さな声で話します
のでよろしくお願ひいたします。
田中君 夏 来たる。
野中君 歴代会長卓話“トリ”です。
佐藤嘉男さん、よろしくお願ひします。
荒澤君、佐々木君、鈴木(囿)君、西巻君
佐藤嘉男さん、卓話ご苦労様です。
楽しみにしています。

馬場(信)君 杉山ガバナー補佐、鈴木次期ガバナー補
佐をお迎えし喜んでおります。
ご指導をよろしくお願ひいたします。
佐藤(秀)君 ガバナー補佐 杉山さん、鈴木さん、本日は
ご苦労様です。
坪井君 緑あざやかな良い気候となりました。ただし、
この時期短く、間もなく梅雨に入ります。
皆さん、体調に気をつけて下さい。
石山君、加藤君、草野君、滝口君、銅冶君、
野島君、野水君、渡邊(久)君
BOXに協力いたします。
萑澤君 久々のBOX当番です。
25、26日と「八海山大倉口の大火渡り祭に
参加してまいりました。
杉山ガバナー補佐、鈴木次期ガバナー補
佐、ようこそおいで下さいました。ご苦労様
です。

Speech

温故知新・歴代会長卓話



卓話

「会長時代、そして青少年交換事業について」

第42代会長
佐藤嘉男 会員



私が、三条南ロータリークラブに入会したのが、1995年1月、住谷会長、佐々幹事の時でありました。今年で18年目に入りました。現在のクラブ会員の平均年齢が62.4歳で、平均在籍年数が17.74年ということで、私が両方ともちょうど平均という割です。

私より先輩が多くいらっしゃる中、ロータリーの経験の話などとても出来ませんので、私の関わった会長時代の話と現在務めております“地区青少年交換委員会”の話をさせていただきます。

私がクラブの役員になったきっかけは、1999～2000年度の会長をされた萑澤さんから幹事を受けてほしいとの要請があり、萑澤さんとコンビを組んだのが最初でした。その後、萑澤親分とは、萑澤さんが地区社会奉仕委員長時代に一緒に出向し、地区幹事の時は副幹事として出向、逆に私の会長時代には次

期AG(現在のガバナー補佐)を萑澤さんをお願いするなど本当に長いお付き合いをさせていただいております。今後もよろしくお願ひいたします。

私の会長時代の話ですが、今月に入り、当時の資料を引っ張り出して調べてみましたら、会長時代の挨拶の原稿が出てきました。読み返してみても、「なんと小難しいことを言っていたのか」と反省しきりです。本当にすみませんでした。メンバーの広い心に救われたと思っております。

当時、吉井会長の時から、地区では『クラブ・リーダーシッププラン(CLP)』が流行っていて、エレクト時代には“CLPセミナー”を受けたりと、最初は意味も分からず本当にこの件では勉強させられました。

『CLP』とは、ロータリーは「人々の幸せのために」時代に適応した存在であり続けるために、ロータリー活動は時代の変化を的確に捉えて「何が重要であり、どんな方法が効果的」であるかという戦略的な方法を、焦点を絞って長期的な視野で模索する必要があるのです。世界中のロータリアンが求めている未来像は、「柔軟性と刷新性のある活力のあるクラブ」とされ、そして、効率の良い、焦点を絞った重点的な奉仕活動を希望し、与えられたプログラムを選択し活動するのではなく、地域や国際社会の中で、それぞれどのようなニーズがあるかを調査し、自主的に活動へのビジョンを立て、自分たちで調査、計画し、クラブ全員で活動プランを実践すべきだと考えています。

当時、CLP担当地区クラブ奉仕・広報委員長であった荒澤さんから、私年度の幹事を受けていただき、2人してどうすべきかを考え、その結果として、まず形からCLPに入ろうと組織の変更をさせていただきました。結果、親睦委員会に他の委員会をほとんどくっつけたため、大変な委員会にしてしまい、すみませんでした。

未来のCLPの長期計画を作るための“クラブ管理運営プロジェクトチーム”と三条南クラブの奉仕事業、特に社会奉仕の長期計画を作る“奉仕プロジェクトチーム”を設置したのですが、張本人の私がもう一つ理解していなかったため上手くいかず、大溪年度に地区より「長期計画立案の手引き」が届き、クラブとしての「新長期計画立案会議」が招集され、吉井さん、私、大溪会長、鈴木罔彦エレクトで会議をしたのですが、本当に難しい問題でした。

また、馬場ガバナーのお供として、地区内の4~5クラブを訪問する機会があり、その折にいくつかのクラブが『ロータリーの綱領』を昌和されており、私年度から、それまでの朗読を唱和に変え、一緒に『三条市民憲章』も斉唱してもらうことさせていただきました。

蕙澤年度時は会員数74名、予算組みにはそれほど苦労はしなかったのですが、私の時は55名からのスタートで、リーマン後の不況も手伝ってか、入会数0、最終的には51名で大溪年度に引き継がざるを得ず、申し訳なく思っております。

55名スタートでの予算組みは大変難しく、特に社会奉仕系に予算がなく、当時の星野社会奉仕委員長には大変な苦労をかけました。何とかお金を使わず社会奉仕するために、地区補助金を申請し、AEDを西鱧田小学校に設置することができました。その他、蕙澤元地区社会奉仕委員長が提唱されていた“祝日の国旗掲揚”に関するアンケートを実施し、回答率78%、国旗掲揚に70%の賛成を得、20人のメンバーから国旗を購入していただきました。そして、もう一つ、現在も行なっているのですが、古切手の回収事業もやらせていただきました。無事会長職を終わることができ、荒澤幹事、熊倉SAA、各委員長には深く感謝しております。

現在、地区青少年交換委員会に所属しておりますので、この委員会について少し話をしたいと思います。ちょっと固いですが、青少年交換計画の趣旨と概要を話させていただきます。

1974年のRI規定審議会において決議された国際青少年交換のプログラムは、数ある国際奉仕活動のうちでも最も価値ある奉仕活動の一つであります。

この計画は、ガバナーの指導の下に地区委員が進めるものでありますが、各クラブから推薦された候補者を地区委員会が選考して、選ばれた学生たちを交換先の地区委員会の指導のもとに一定期間、外国のロータリアン家庭でホストされ、その家族の一員として過ごし、現地の学校に通学してありのままの生活体験をし、その国の風俗、習慣等を見聞しながら、国際理解と国際親善を推進するものであります。すなわち、善意と国際理解のロータリーの使節であります。

第2560地区として、1972年から2012年までの間に、アメリカ、カナダ、ドイツ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、ブラジル、タイとの間で、一年交換は派遣213名、受入202名が実施され、夏期交換は短期交換として派遣571名、受入574名が参加しています。

一年交換学生のタイムスケジュールは、7月に次年度派遣募集要項の送付 → 地区委員会で選考テスト → 本人に通知 → 派遣先の選択 → 派遣先及びホストクラブの決定 → 内定者オリエンテーション（3回：今年は12/23、5/27、9月の予定）の流れです。

一年交換学生として帰国後、ROTEX（帰国学生の団体）に参加してもらい、内定者オリエンテーションや外国から来日中の学生との交流等、その後もROTEXとしてロータリーの国際奉仕の一助として活動してもらっています。

当クラブでも1997年にヤン・ビッキー（加）、2006年にレナ・F（独）を受け入れています。

夏期交換の目的と条件・・・この計画は、ガバナーの指導の下、地区対地区の交換を原則とし、クラブ対クラブ、クラブ対地区が行なう国際奉仕並びに青少年奉仕であり、国際理解と親善の促進に努めることです。

夏期交換学生派遣クラブは、必ずドイツ学生を受入れクラブとしなければなりません。受入れ学生は7月中旬に来日、約3週間ホームステイします。派遣学生は受入れ学生と一緒に8月初旬に出発し、約3週間、ドイツのホストファミリー宅に滞在します。

この奉仕活動には多くの困難と煩わしを伴うことがありますが、それ以上に本人は勿論、地域社会のためにも、また、クラブにとっても計り知れない大きな成果を挙げることができる奉仕活動です。ぜひ、お子様、お孫様にこのプログラムへの参加をお勧めいただければと存じます。

次週例会 6月17日「クラブ・フォーラム」 次年度事業計画について
次々週例会 6月24日「会長・幹事慰労会」 18:30~ 於：松木屋



表紙について

あの日の一枚・・・「創立30周年記念式典」

藤本義一氏記念講演「人間再発見」

1998年6月6日 於：ハミングプラザVIP

三条南ロータリークラブ週報

2013. 5.27

No.2078 No.36